

豊後大野市資料館収蔵庫設置計画（基本構想）概要版

令和7年6月5日議会説明資料
豊後大野市教育委員会

1. はじめに

- 三重体育館を資料館の収蔵庫として改修する方針
（豊後大野市スポーツ施設の整備等に関する基本計画（令和4年9月策定））
- 令和6年度に豊後大野市資料館収蔵庫設置計画（基本構想）の策定（令和7年1月）



2. 収蔵庫設置の目的

- 歴史・民俗・自然科学などを学ぶ教育施設として多くの資料を収蔵する
- 資料の保管・展示活用より、市民の学習活動、学術文化の発展に寄与する
- 資料群は合併前の旧町村時代から地元住民からの寄贈等に応じ保管する
- 歴史的な価値を持つ極めて貴重な各種資料を保存し郷土の歴史文化を後世に伝える
- 収蔵資料を後世の調査研究に寄与するものとして保存活用する
- 分散している収蔵品を一箇所に集約し、管理体制の充実を図る



3. 活用コンセプト

★見る・体験する

- 貴重な文化財や資料の収蔵庫が資料館に隣接していると、見学を通じて魅力を伝える場としての活用が図れる
- 子どもたちなどの来訪者が文化や歴史を五感で感じることができ、教育環境の充実が図れる



★重要文化的景観につなぐ



- 農村地域の保全や年中行事など、地域の生業や生活文化を支えてきた古民具や歴史資料を系統的に収蔵及び展示し、貴重な景観を保存する意識の醸成と学びの提供につなぐ

★まちづくり・観光の材料

- 歴史を学ぶ拠点である資料館機能を補完し市の民俗・文化財等を市内外に広めるまちづくりや観光振興の拠点としての役割を担う



★将来的な視点

- 未来を担う子どもたちと専門家等が交流することにより、地域への誇りと郷土愛の醸成を図るとともに関係人口の創出を図る



4. 収蔵施設の現状

保管場所	保管の内訳	課題
旧緒方公民館	1,156箱 1,605点	・建物に耐震性がない ・老朽化による雨漏りが発生している
旧大野南部小	1,743箱	・収蔵物を箱積み状態で保管している
朝地公民館	201箱 95点	・展示などの活用ができていない
市資料館	4,192箱 5,192点	・収蔵物が入りきれず整理できていない
計	7,292箱 6,892点	



旧南部小保管状況



旧緒方公民館保管状況

収蔵庫設置の方向性

- 耐震性や雨漏りの解決と保管状況の改善が求められている
 - 新たな収蔵庫の建設は、多額の費用が必要
 - 施設の集約化や公共施設の利活用が求められている
 - 収蔵品の管理や点検等を適切に行うことのできる広さと場所が必要
- 収蔵品を三重体育館に集約して収蔵することで、安全かつ適切に保管・管理することができ、企画展示品の入替えや収蔵資料の見学への対応が可能となる。

5. 体育館改修計画の概要

- 耐震化・雨漏り対策
- 紫外線防止対策
- 重量物も収容可能な強度の確保
- 将来にわたり増加する資料収容能力確保
- 企画展示品の入替や収蔵資料見学への対応

収蔵設備

- 【体育館部分】 出土品・民具類などを保管（床の補強と棚の整備）
- 【トイレ更衣室部分】 紙資料（古文書・公文書・掛軸等）などを保管
- 収蔵面積の確保：建物の空間スペースの有効活用
- 重量物も収容：床の強度確保、棚の設置
- 外壁・屋根：耐震化及び断熱、雨漏り防止
- 電気設備：照明のLED化（低圧電力）
- 設備関係：空調設備、上水道設備も設けない。

6. 今後のスケジュール

	R7	R8	R9
実施設計（耐震改修設計含む）	■		
改修工事入札・建築確認申請・改修工事着工		■	
改修工事完了・収蔵品移転・運用開始			■